

# 令和3年度 気仙沼市立鹿折小学校

## 「海と生きる探究活動」実施状況及び学校関係者評価

### 1 「海と生きる探究活動」実施状況（年間時数）

	計画	実施	備考
第3学年	50	51	「海と生きる探究活動（教科時数）」を学習の理解のため1時間増
第4学年	50	51	「海と生きる探究活動（教科時数）」を学習の理解のため1時間増
第5学年	62	60	「海と生きる探究活動（教科時数）」を教科時数に見直したため2時間減
第6学年	61	61	

※令和4年度については、余剰時数を2～4時間確保し、柔軟に取り扱えるようにする。

### 2 「海と生きる探究活動」学校評価

評価内容	1回目	2回目
年間指導計画に基づいた計画的な実施を行っている	100%	92%
地域で学ぶことを基本に体験，探究的な学びをしている	100%	100%
「海と生きる探究活動」のねらいを明確にし，計画的に推進している	93%	100%
外部と連携し，ESDや海洋教育を通して協働教育を推進している	100%	100%

※職員の割合は，肯定的な評価（S，A，B）を合わせた値である。

※1回目：令和3年7月実施，2回目：令和3年12月実施

### 3 「海と生きる探究活動」学校関係者評価

（令和4年1月実施）

質問内容	保護者	児童
ふるさと活動・学習について	97%	
ESD（持続可能な開発のための教育）の取組について	99%	
環境問題や地域産業への気付きや興味・関心について	93%	
海洋教育の大切さについて	95%	96%

※保護者，児童の割合は肯定的な評価（よく当てはまる，やや当てはまる）を合わせた値である。

- ・「ふるさと活動」，「ESDの取組」，「環境問題や地域産業」，「海洋教育」などは他の項目に比べて評価が高い。本校が「海と生きる探究活動」や「生活科」で力を入れて取り組んできたことに対して児童，保護者が肯定的に捉えていると考えられる。
- ・児童の様子からもこれまでの取組の効果（思考ツールを用いて考えを深めようとする姿，体験から学んだことをまとめようとする姿）が表れている。